

年度当初にお示しした本校各分掌の重点目標の達成度に対する中間評価を行いました。1 学期末に実施した「中間評価のためのアンケート」（生徒・保護者の一部と教職員に実施）の結果を踏まえた中間評価の状況を報告します。（四角枠内は本年度重点目標です。）

〈学習指導〉～学習習慣の確立と学力向上を目指して～

○ 家庭学習を定着・増加させる。

アンケートでは、生徒に対する「先生方は、平日の家庭学習時間が増加するように課題を出している」という質問の肯定率は70%を超えており、保護者に対する「お子様は、家庭で平日に学習している」という質問の肯定率は50%弱に留まっている。この結果から、生徒に対して課題は出しているが、それが家庭での学習に直結していない一面があると思われる。保護者の見ていないところで学習している可能性もあるが、現状としてその実態は把握できていない。

今後は、学年で行われている朝学の小テストと連携し、アンケートを取ることで、どのような意識で家庭学習に取り組んでいるのかを把握していく予定である。その結果を踏まえて、より生徒の家庭学習に直結する課題の出し方や、小テストの実施方法などを模索していきたい。

〈教育情報〉～情報セキュリティの向上を目指して～

○ 情報機器を安全に運用する。

教員に対して、流行しているコンピュータウィルスを例に挙げて注意喚起を行うとともに、情報機器の扱いに関して現職研修を行った。また、ネットワーク内の電子データの管理状況を点検・改善した。生徒用パソコンについては、パソコン教室の使用管理簿を作成して、管理を強化した。

〈進路指導〉～夢の実現を目指して～

○ キャリア教育や面接試験指導を充実させ、地元企業や大学等、地域と連携して人材を育成する。

1、2年生は、オープンキャンパス等の参加や事業所見学の結果をまとめて課題提出させることにより、自らの進路選択について具体的に考える機会を与えた。また、学年LT、総合学習で本校教員や外部講師による進路講演会を複数回開いた。3年生の就職希望者には、夏休み中から教員による志望理由の文章指導や面接指導を行った。

今後は、課外授業等における学習指導を引き続き行う一方で、3年生の推薦入試受験者に対して、礼儀作法から発言内容などに至るまでのきめ細かい指導を全職員で行う。各学年とも今後も、外部講師を活用した進路講演会を開きコミュニケーション能力の向上を図るなど、希望進路別に進路について考えさせ有用な人材育成を目指す。

〈生徒指導〉～基本的な生活習慣の確立を目指して～

○ けじめある生活が送れるようにさせる。 ○ 命の大切さを教え、交通ルールを遵守させる。 ○ いじめの未然防止と、早期発見に努める。

「いじめの未然防止と早期発見」に関して、保護者では肯定率約40%、生徒平均約55%という中間報告となった。デリケートな評価されにくい項目である。まず、いじめが起きにくい学校づくり、学級づくりから取り組みたい。

「身だしなみ指導」、「交通安全指導」は、80%から90%と高い生徒からの肯定率であったが、遅刻指導に関しては、3年生80%、2年生70%、1年生60%と、低学年になるに従って10%ずつ減っている。これから寒くなる時期もあるので、生徒達が交通安全に留意して早めに登校し、けじめのある生活が送れるように指導したい。

〈生徒会〉～生徒会活動の充実を目指して～

○ 学校生活（HR活動、生徒会活動、部活動）において、生徒が自ら考え積極的に活動する学校を目指す。

文化祭では、「西高万博」というテーマに基づき、生徒会執行役員をはじめ、文化祭実行委員や室長、部長がリーダーとなって、世界各国の文化や歴史に関する企画を発表することができた。体育大会では、各部活動の生徒が主体的に運営することができ、充実感のある行事となった。また、ボランティア活動にも、多くの生徒が積極的に参加することができた。

今後は、生徒がより積極的に生徒会活動やボランティア活動に参加できるような機会を増やしていきたい。

〈PTA活動〉～PTAの充実を目指して～

○ PTA活動において、PTA理事を中心とした活動体制を確立する。

本年度も学校祭にてPTAバザーを行い、活況を呈した。夏休み前後の準備において、昨年度より多くのPTA理事の方々に集まって頂き、積極的な活動ができたと思われる。課題としては、各分科会の中には実質的にはあまり機能していないものもあり、分科会の統合を考えなければいけないことが挙げられる。理事とよく相談して、慎重に進めていきたい。

〈防災学習〉～防災学習の充実を目指して～

○ 防災体制を見直す。

本年度は障害物を置いたり、負傷者役の生徒を事前に決めたりするなど、より現実的な状況を設定して第一回防災学習を行った。防災学習自体は実りの多いものだったと感じているが、アンケートの結果（生徒の肯定率：1年生 48.1%、2年生 64.9%、3年生 68.4%）からまだまだ改善の余地はあると思われる。また、防災学習そのものが単発的な行事なので、常日頃から防災意識を高めるという段階まで意識を引き上げられていない。いざというときに即行動できるような体制を模索していきたい。

〈学校保健〉～落ち着いて学ぶことのできる教育環境を目指して～

○ 生徒が落ち着いて学ぶことのできる学習環境の充実に努める。

朝の健康観察では、教員側から声をかけ、生徒自ら体調不良の有無を意思表示させている。また、意思表示はなくても気になる生徒には個人的に声をかけ、保健指導や相談指導を早期に実施している。支援が必要な生徒を早期に発見し、養護教諭、相談係、クラス担任等関係者が連携して情報交換できるような体制づくりを更に充実させていきたい。

清掃時には、環境美化委員がゴミステーションでの分別を行っている。生徒が主体的に活動することによって、他の生徒に刺激を与えることができている。また、部活動の生徒が自主的に駐輪場を掃除していることもあり、環境美化に対する意識が高まっていることがうかがえる。今後は、清掃道具の補充、整備を計画している。

〈図書館活動〉～読書活動の充実を目指して～

○ 生徒の知性や人間性を育むため、図書館利用や朝の読書活動を充実させる。

図書館利用の促進のため、従来の活動に加えて、図書委員によるHRでの利用呼びかけやPTA総会時の保護者対象の図書館開放を試みた。朝の読書は順調に行われているが、さらなる質の向上のため、改善点がないか今後検証したいと考えている。

読み聞かせの会では、今年度初の試みとして、専門知識を持ったボランティアの方に協力していただいた。メンバーの資質向上に大変役立っており、10月からの保育園訪問に成果を発揮できるよう見守りたい。

〈現職研修〉～教職員の資質向上を目指して～

○ 各研修、業務の意義を踏まえ、円滑に実施できるよう努める。

○ 多忙化解消に向けて、ワークライフバランスを意識した職場環境整備に努める。

現職研修では、情報セキュリティ講習会（教育情報係）、応急手当講習会（保健部）を実施した。両方とも毎年行うことに意義がある研修として定着した。その他の基本研修も関係部署の尽力のおかげで、着実に行われている。

今後は、年間計画に基づいて各々の研修を円滑に実施していきたい。また、多忙化解消のひとつの手立てとして、総務部・保健部等と連携して職場環境の整備を維持していきたい。